

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 140-8539

住 所 東京都品川区東大井五丁目22番5号

氏 名 三愛石油株式会社

代表取締役社長 塚原 由紀夫

(代理人) 天然ガス部 部長 加藤 博敏

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	三愛石油株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区殿町三丁目26番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業種 の業種	大分類	F	電気・ガス・熱供給・水道業
	中分類	35	熱供給業
主たる事業容 の内	電力、蒸気、冷水、温水の製造および販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		2,409 kJ
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間	2019年度～2021年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 4 ※印の欄は記入しないでください。
 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 溫室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 溫室効果ガス排出量削減に向けた方針

【 川崎エネルギーセンターの基本方針 】

下記の基本方針に基づき、設定した目標計画を実践する。

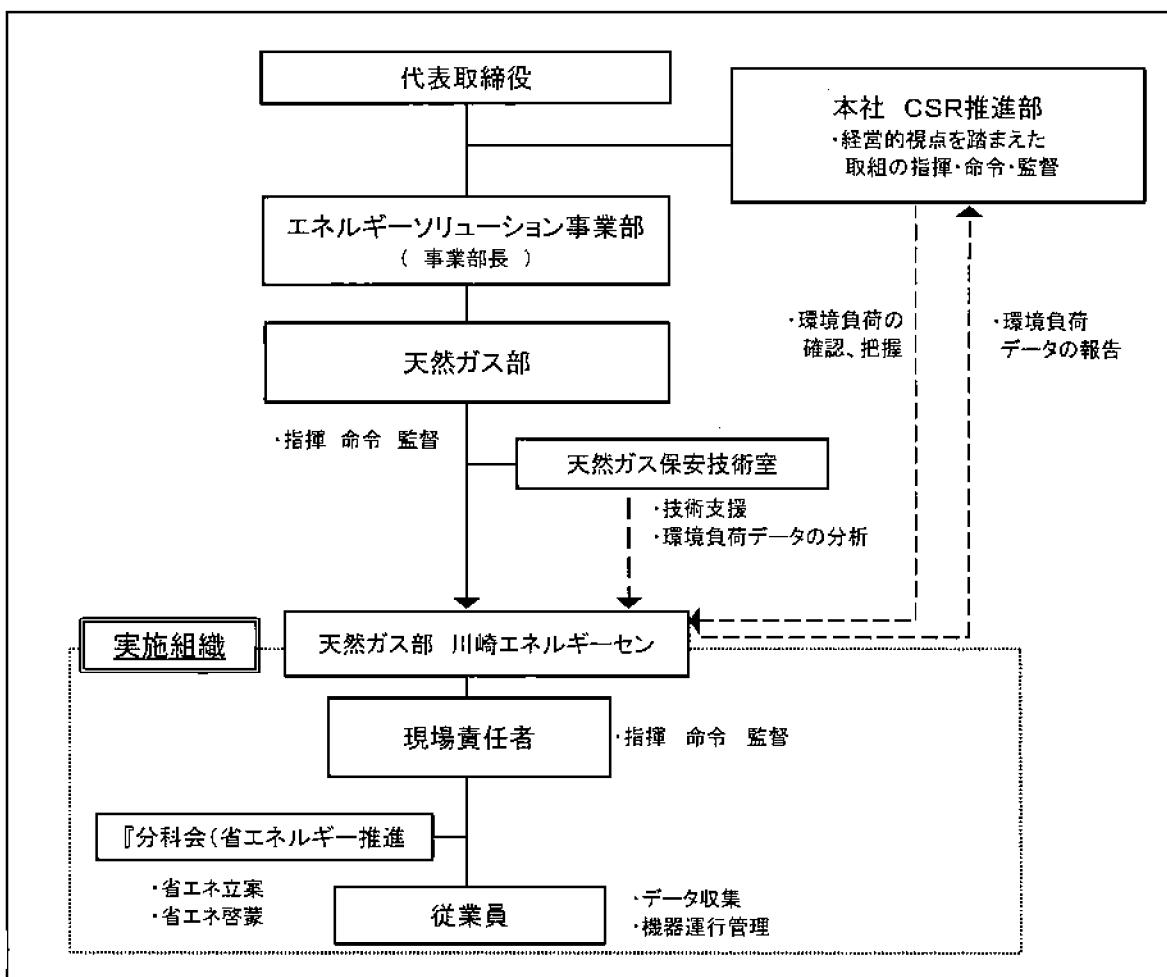
- ①エネルギー製造に伴うCO₂排出量を削減すべく各エネルギー製造機器の効率運転および排熱等の有効利用を継続的に行う。
- ②設備の定期点検を計画的に実施する事で、各種機器の機能を維持させる。
更に、機器の稼動データや各種設定値を組織的に把握して管理する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

別添、点検表（産業部門）に沿って適切な進行管理を行う。

進行・進捗管理は省エネルギー推進分科会（1回/3ヶ月）にて検証評価を行う。

2 溫室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
基 準 年 度	2018	年度
目 標 年 度	2021	年度
基 準 排 出 量	(実) 409 (調) 385 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
目 標 排 出 量	(実) 407 (調) 383 t-CO ₂	(実) (調) t-CO ₂
削 減 量	(実) 2 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内 訳 対策実施による削減量	(実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
上記以外の削減量	(実) 2 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削 減 率	(実) 0.5 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

	1、2、4号該当者等	3号該当者等
原 单 位 等 の 活 動 量		
原 单 位 の 单 位		
基 準 年 度 の 値		
目 標 年 度 の 値		
削 減 率	%	%

ウ 目標設定に関する説明

当事業所は2010年9月に需要家敷地内に電力・熱供給事業を行うため開所し2019年度に9年目を迎えた。前3ヶ年の実績は需要家向けエネルギー供給量が増加するなか、①エネルギー製造機器の効率運転実施。②機器類の定期点検・保全等実施による安定的稼動により最終年度に目標温室効果ガスの排出量削減を達成する事が出来た。

今後3ヶ年の温室効果ガス排出量の目標設定にあたっては、当社エネルギー製造機器の経年劣化や需要家へのエネルギー供給量が2018年度と同水準を見込むなか、一層のエネルギー製造機器の効率運転と機器類の定期点検・保全を的確に実施することで、最終年度の排出量を0.5%削減する。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計画	<p>①推進体制の強化 省エネ会議を開催し相互把握を行い、情報共有体制を維持強化する。</p> <p>②主要設備等の保全管理 主要設備等の性能・効率低下防止のため、定期的な保守点検および点検結果に応じた保全を確実に実施する。</p> <p>③空調設備の効率管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 外気条件および負荷変動に応じて複数運転をする際には、総合的なエネルギー効率向上のため、稼動機器の選択等について調整を図る。 外気条件および季節変動等に応じた冷却水温度や冷温水温度等の設定変更により総合エネルギー効率の向上を図る。 <p>④コーポレートガス設備の効率管理 発電時に発生する熱を回収・利用し総合効率を向上させるための運転管理を実施する。</p>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

- ①推進体制の整備として体制を組織化し役割分担を決めた。
- ②主要設備の保全管理として定期保守点検と点検結果に応じた保全措置を確実に実施した。
- ③空調設備の効率管理として定格運転や負荷に応じた冷却水温度変更や冷水供給バルブの開度調整などを適宜行った。
- ④コーポレートガス設備の効率を高めるため、排熱投入型吸収式冷温水発生機を中心とした稼動を行うなど効率の維持に努めた。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	利用の計画は無し
風力	×	利用の計画は無し
バイオマス	×	利用の計画は無し
未利用エネルギー	×	利用の計画は無し
その他()	×	利用の計画は無し
その他()	×	利用の計画は無し

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
	該当設備の保有、計画なし	

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るために設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備		エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備		その他()	
EV、PHV、FCV		その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計画	・該当なし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計画	・所内廃棄物の減量化・分別化の促進に取り組む。 ・取引先企業、協力会社に対して、当事業所への来所に際し公共交通機関（電車・バス）の積極的な利用を要請する。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績(1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	409	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,409	K.L.
-------	------

ウ 事業所の数

1

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量	
天然ガス部 川崎エネルギーセンター	川崎市川崎区殿町3丁目26番2号	409	t-CO ₂
			t-CO ₂
			t-CO ₂
			t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kL以上1,500kL未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂